

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称
福山熱煉工業株式会社 福山テクノ工場
- (2) 事業所の所在地
福山市箕島町6280-1
- (3) 業種
金属熱処理業

2 計画の期間

2015年度を基準年度とする2016年度から2020年度までの5年間

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))			
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂						
非エネルギー 起源CO ₂						
メタン						
一酸化二窒素						
その他 温室効果ガス						
温室効果ガス 実排出量総計						
温室効果ガス みなし排出量						
実績に対する 自己評価						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 加工賃 (百万円)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	2015年度	2020年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
エネルギー 起源CO ₂	8.84	8.41 -4.9	8.81 0.34	8.07 8.71	7.59 14.14	7.39 16.40	
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 総排出量	17234	18000	16471	17406	16869	14691	
エネルギー消費原 単位 (原油換算k1)	3.25	3.09 -4.9	3.28 -0.92	3.02 7.08	2.92 10.15	3.03 6.77	
実績に対する 自己評価	コロナ禍により生産効率が悪化したが、中国電力網の基礎排出係数が下方に抑えられたため二酸化炭素排出量が減少し、原単位はわずかではあるが昨年度よりよくなった。結果、目標年度の原単位も達成できている。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気使用量を5%削減(原単位)	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場全体での炉の稼働状況を把握し、無駄な設備の稼働を抑える ● 1ロットの装入量上げる等、できるだけ効率のよい生産を実施する ● エアコンの温度設定・不要な照明を消す等の普段の省エネの推進
2	ブタンの使用量の削減	ブタン使用量を3%削減(原単位)	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場全体での炉の稼働状況を把握し、無駄な設備の稼働を抑える ● 連続炉装入量上げる等できるだけ効率のよい生産を実施する
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み(環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
	廃油の削減	原単位での削減率 年3%	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃油の油水分離を進め、油分の再利用を図る

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。